

分野（領域）	専門基礎分野	科目名	臨床病態論Ⅰ (循環器系)
単位（時間）	2 (60時間うち30時間)	開講時期	1年次 2年次 3年次
講師	外部講師		
科目目標	1. 循環器系の疾患について理解できる。		
<p>【講義内容】</p> <p>人体の構造と機能</p> <p>第4章：血液の循環とその調節</p> <p>A. 循環器系の構成 B. 心臓の構造 C. 心臓の拍出機能 D. 末梢循環系の構造 E. 血液の循環の調節 F. リンパとリンパ管</p> <p>成人看護学 循環器</p> <p>第2章：循環器の構造と機能</p> <p>A. 心臓の構造と機能 B. 血管の構造と機能 C. 循環の調節</p> <p>第3章：症状とその病態生理</p> <p>A. 胸痛 B. 動悸 C. 呼吸困難 D. 浮腫 E. チアノーゼ F. めまい・失神 G. 四肢の疼痛 H. ショック</p> <p>第4章：検査と治療</p> <p>A. 診察と診断の流れ B. 検査 C. 治療</p> <p>第5章：疾患の理解</p> <p>A. 虚血性心疾患 B. 心不全 C. 血圧異常 D. 不整脈 E. 弁膜症 F. 心膜炎 G. 心筋疾患 H. 肺性心 I. 先天性心疾患 J. 動脈系疾患 K. 静脈系疾患 L. リンパ系疾患</p>			
<p>【テキスト／参考文献】</p> <p>(循環) 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[3] 循環器 第2章～第5章 系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能[1]解剖生理学 第4章</p>			
<p>【評価】</p> <p>学科試験 筆記；100点をもって満点、60点をもって合格とし、60点未満を不合格とする</p>			

分野（領域）	専門基礎分野	科目名	臨床病態論Ⅰ (呼吸器系)
単位（時間）	2 (60時間うち30時間)	開講時期	1年次 2年次 3年次
講師	外部講師		
科目目標	1. 呼吸器系の疾患について理解できる。		
<p>【講義内容】</p> <p>人体の構造と機能 第3章：呼吸と血液の働き A. 呼吸器の構造 B. 呼吸</p> <p>成人看護学 呼吸器 第2章：呼吸器の構造と機能 A. 呼吸器の構造 B. 呼吸の生理 第3章：症状とその病態生理 A. 自覚症状①咳嗽 ②喀痰 ③血痰・喀血 ④胸痛 ⑤呼吸困難 B. 他覚症状①チアノーゼ ②ばち指 ③発熱 ④呼吸の異常 ⑤声の異常 ⑥いびき ⑦意識障害 第4章：検査と治療・処置 A. 診察と診断の流れ B. 検査 C. 治療・処置 第5章：疾患の理解 A. 感染症 B. 間質性肺疾患 C. 気道疾患 D. 肺循環疾患 E. 呼吸不全 F. 呼吸調節に関する疾患 G. 肺腫瘍 H. 肺・肺血管の形成異常 I. 胸膜・縦隔・横隔膜の疾患 J. 肺移植 K. 胸部外傷</p>			
<p>【テキスト／参考文献】 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[2] 呼吸器 第2章～第5章 系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能[1]解剖生理学 第3章</p>			
<p>【評価】 学科試験 筆記；100点をもって満点、60点をもって合格とし、60点未満を不合格とする</p>			